

平成28年12月定例会

五島市教育委員会会議録

平成28年12月26日

五島市教育委員会

平成28年12月定例会会議録

1 日 時 平成28年12月26日(月) 午後1時40分～午後2時53分

2 場 所 市役所3階 第2委員会室

3 出席者 教育委員 吉田茂樹  
教育委員 林田登志子  
教育委員 坂本泰蔵  
教育委員 佐藤清美  
教育長 清水肇一郎

4 欠席委員 なし

5 会議に出席した者の氏名

総務課長兼給食センター所長	中村伸雄	学校教育課長	都々木信幸
生涯学習課長兼図書館長	大窄昭三	<del>学校教育課長補佐</del>	<del>山口幸</del>
施設係長	田脇栄二	学校教育班係長	角田亮明
学務係長	江頭康一	生涯学習推進班係長	尾崎克厚
生涯学習推進班係長	石田厚広	<del>福江幼稚園長</del>	<del>堤智代子</del>
文化会館長兼資料館長	<del>谷川安昭</del>	富江分室長	小田昌広
玉之浦分室長	北川和信	三井楽分室長	竹野嘉一
岐宿分室長	中野邦彦	<del>奈留分室長</del>	<del>八代英文</del>

(合計/書記含め13名)

6 欠席者 ~~————~~で消去

7 傍聴者 なし

8 書記 総務係長 池本佳孝

## 9 議題及び議事の概要

- ヘトマト保存会地域文化功労表彰伝達式  
(ヘトマト保存会は、五島市の交流人口拡大、地域振興に寄与した功績が顕著であるとして、文化庁から地域文化功労者表彰を受賞しました)
- 教育長(清水 肇一郎)が開会を宣告(午後1時40分)する。

教育長が前回会議録の承認について議題に供し、中村総務課長が11月定例会の会議録を説明の後、教育長が各委員へ審議を諮ったが、質疑、意見もなく承認された。

- 清水教育長から次のことについて報告がなされた。
  - 1 第3回新任教頭研修会について(11月30日)  
今年度の新任教頭11名が真摯に職務を遂行していることが伺えました。
  - 2 崎山小学校JETプログラム30周年参加報告について(12月1日)  
式典において3名の児童が英語でのスピーチを行いました。参列者の方々より良い評価をいただいています。
  - 3 愛のチャリティー歌の祭典子育て支援目録贈呈について(12月11日)  
今年度も子育て支援ということで30万円の寄附をいただきました。
  - 4 福江給食センター訪問について(12月15日)  
異物混入に対しての徹底をお願いしました。
  - 5 教職員団体との話し合いについて(12月16日)
  - 6 崎山小学校skype授業について(12月21日)  
北海道の学校とネットをつないでの授業でしたが、児童の英語力、コミュニケーション能力が育っていることに感動しました。
  - 7 岐宿統合小学校の現地確認について(12月22日)  
五島産木材をふんだんに使用しており教育効果の高い校舎が完成するものと思います。
- 12月定例会「議案なし」

- 「その他」として次の報告がなされた。

中村課長、大窄課長

1 2月市議会定例会の概要について

- ・ 12月7日～12月22日（会期16日間）の期間で開催。
- ・ 文教厚生委員会では、補正予算（第3号）について審議され、スクールバスのバス停にトイレが必要ではないかという要望。山本二三美術館について質疑が集中し、現在の基本設計を基に旧松園邸の改修の概要を説明し、展示する内容や使用権などの質疑があり、地元業者を優先して改修するようとの意見要望がありました。
- ・ 一般質問では、教育委員会関係で4名の議員より質問があった。一般質問の内容及び答弁については次のとおり。

【草野議員】

○本庁舎建設と新図書館建設について

⇒ 新図書館建設の進捗についての質問であった。基本計画の検討委員会を設置、市民へアンケート調査を実施、今後、住民説明会を開催し、意見をいただきながら来年の7月を目途に基本計画を策定する。質問には市庁舎建設と合築で実施できないかという意味合いもあったが、新図書館については住民の意見も十分反映したいということで市庁舎との合築は困難である。

【網本議員】

○岐宿地区の小学校統合後の3小学校施設の利活用について

⇒ 地域での公共的施設としての利活用は現状では厳しい。NPO法人などから申し出があれば対応する。

【江川議員】

○新たな奨学金制度の進捗状況と就学援助の入学前実施について

⇒ 奨学金制度については、奨学金の返済に対する助成制度について、29年4月の実施に向け制度設計を進めている。対象者や対象となる奨学金、上限を24万円とする助成額等について要件を説明した。就学援助については時間切れで質問がなく答弁をしていない。

【中村議員】

○(1)JETプログラム30周年記念事業について、(2)長崎県読書感想文コンクールの結果について、(3)全国学力・学習状況調査結果の分析とアクティブラーニングの導入について、(4)給食費の無料化について、(5)五島の代表的

民謡「五島さのさ」「五島ハイヤ節」の普及支援について、(6)新図書館建設事業教について

- ⇒ (1) 崎山小学校児童3名が参加した。また、中総体駅伝大会において英語で選手宣誓を行ったことなどを紹介した。
- (2) 優秀賞及び佳作に崎山小学校の児童が入選したことを紹介した。
- (3) 学力調査で、小学校は27年度と比較すると改善が図られている。中学校では、27年度と比較すると全国平均との差が広がった。学習状況調査では、小中学校ともに全国平均を上回った。アクティブラーニングについてはすでに実践され、研究が深められている状況である。
- (4) 現在の五島市の財政状況から非常に厳しい。
- (5) 五島の民謡について、興味関心を持っていただく人を増やすことを目的に勉強会や講座等を開催し、広く市民へ知ってもらうことが大切である。
- (6) 草野議員への答弁と同様、今のところ平成32年度中の開館を目指している。

教 育 長

ただいま12月市議会について説明がありましたが何かご質問等はありませんか。

吉田委員

教育長の答弁の中で、給食費について市の持ち出し分と保護者負担分などの説明がありましたが、気になるのが給食費の未納があるのかないのか。あるとすればどれくらいあるのか教えてください。

中村課長

給食費の未納はあります。今年5月の数値になりますが未納額が340万円程度あります。支所地区の給食センターには現年度分の未納はないなど徐々に改善はされている状況です。解消については給食会にも努力してもらっているのですがなかなか0にはならない状況です。

教 育 長

合併前からの未納など卒業した児童生徒の未納分もありますので、未納額を0にすることは大変厳しいと思っています。給食会にも努力してもらっているのですが徐々に改善はしておりますがなかなか難しい問題です。

中村課長

椛島小中学校の休校について（配布資料あり）

平成29年度より椛島小中学校に在籍する児童生徒がいなくなるため、休校になる旨を説明。また、教育委員会としては、休校後、平成29年度中に条例改正を行い分校化が出来ないか検討している。1月に椛島地区住民への説明会を開催する予定としている。

坂本委員

現在、椛島地区には子どもがいる家族がいるとも聞いたことがあります  
が、どうでしょうか。

都々木課長

現在のところ5歳児と2歳児がいる家庭がいるようです。その家庭に聞き取りを行ったのですが、椛島にいるのは一時的なものと聞いております。

吉田委員

学校の耐震化のことですが、現在のところ耐震化できていない学校施設が富江中学校体育館と椛島の校舎だだと思います。休校になると五島市の耐震化率を算定する際に椛島の校舎は外れることになりませんか。外れるとなると富江中学校体育館の耐震化が済めば五島市の耐震化率は100%になるという理解でよろしいですか。

田脇係長

休校になると耐震化率の算定から外れることになりますので、富江中学校体育館の耐震化が済めば100%ということになります。

大窄課長

- ①山本二三美術館（仮称）について  
図面を配布し、イメージを説明。
- ②愛のチャリティー歌の祭典について（12月11日）  
収益金から子育て支援金として寄附金30万円をいただきました。子ども達のために使わせていただくため、児童健全育成基金へ積立てを思います。
- ③長崎原爆被爆体験講演会について（12月18日）  
演題「私と家族の被爆体験」 来場者120名。
- ④第2回新図書館整備基本計画検討委員会について（12月21日）
- ⑤特別展示 ウエダ清人絵画展「五島列島の教会」について（11月19日～12月25日）
- ⑥成人式について（1月3日、4日）
  - ・玉之浦地区（1月3日） 玉之浦町公民館 対象者11人
  - ・富江地区（1月3日） 富江町公民館 対象者35人
  - ・三井楽地区（1月3日） 三井楽町公民館 対象者33人
  - ・福江地区（1月4日） 文化会館 対象者249人
  - ・岐宿地区（1月4日） 福江島離島開発総合センター 対象者39人
  - ・奈留地区（1月4日） 奈留離島開発総合センター 対象者25人
- ⑦青少年健全育成意見発表会について（1月29日）
- ⑧富江町出身の画家「増田常德」氏の絵画寄贈について

角田係長

しま留学の受付状況について（配布資料あり）

今年度より実施している久賀の3名については、事故等もなく元気に学校に通っており、現在冬休みで実家に帰っている状況です。

次年度に向けての受付状況等になりますが、来年度からは奈留でもしま留学が開始されます。募集定員を久賀で5名、奈留で3名を予定しています。現在留学している久賀の3名のうち2名は継続ということで正式契約を済ませております。新規の留学生については、申し込みを行う場合は事前に現地見学を必須としておりますが、その現地見学を済ませて、久賀で3名、奈留で1名が正式に申し込みを済ませております。久賀については定員を満たしましたので、ホームページ上でキャンセル待ちということでお知らせしていますが、その後、奈留への申し込みもあっている状況ですので、両地区とも定員を確保できるのではと考えています。今後も現地見学も含めてきめ細やかな対応をしていきたいと思っております。

中村課長

岐宿給食センターの廃止について

岐宿給食センターは築30年以上経過しており、衛生基準を満たしていない状況にあるため、改修や建て替えの必要性がでてきていました。平成29年4月の岐宿地区統合小学校の開校に伴って、3小学校が現在の岐宿中学校の敷地内に建設され学校が集約されることから、配送距離的に他の給食センターからの配送が可能となったことにあわせて、岐宿給食センターを廃止し、福江給食センターから配送する方向で協議、調整を進めています。

教育長

それでは各課からの報告は終了したいと思います。

それでは、委員の皆様事前に配布しておりました「教育委員会各課 具体的施策の進捗状況と課題（平成28年11月末現在）」について、ご質問やご意見を受けたいと思っておりますが何かございますか。

佐藤委員

通学合宿について、具体的に何を行っているのか教えてください。また、どれくらい続いていますか。

尾崎係長

今年度は大浜小学校で実施しています。以前は崎山小学校でも実施しておりました。具体的な内容としては、公民館等を寝泊りの拠点として、自炊、買い出し、布団の上げ下ろし、掃除、近所の家でのもらい湯、自

習など集団生活を送りながら合宿を行っています。この通学合宿では、学校、地域、家庭がそれぞれ役割を持って連携することで地域活性化に寄与すると考えておりますので、今後各地へ広めていきたいと考えています。

大浜小学校の前は、崎山小学校で4年、その前は緑丘小学校の小田地区でも実施されています。

#### 教育長

この事業は、親への感謝を知る上で非常に教育効果が高い取り組みだと感じています。また、地域の人とのつながりによりふるさとを誇りに思う子どもの育成に役立っていると思っています。

#### 坂本委員

小中学校の焼却炉撤去について、撤去の理由として児童生徒の安全確保のためとありますが具体的にはどのような意味でしょうか。また、閉校した学校も撤去の対象になっていますか。

#### 田脇係長

焼却炉の撤去箇所は閉校した学校も含んで全部で21か所あります。現在、事前調査として残渣を検査しましたが基準値は下回っておりました。すぐに児童生徒への影響はないと思うのですが、老朽化してくると影響がでてくる可能性もありますので、法に基づいて来年度撤去する予定としております。

#### 林田委員

いじめ・不登校対策について、不登校の原因の多くは家庭の問題に起因することが多くとありますが、言える範囲で構いませんのでどのようなケースがありますか。また、家庭の問題以外の原因としてはどのようなものがありますか。

#### 都々木課長

不登校者は現在30数名報告があがってきています。原因としては、以前は学校でいじめられてとか、先生から強く指導されてということが多かったように感じているのですが、最近ではそういった理由は少ないように感じます。30数件のうちの10件に満たないくらいだと思います。家庭の原因としては様々なものがありますが、例えば家庭全体が引きこもりの状態であること、親の離婚により子どもが落ち着かない状況になっていること、金銭的なこと、いわゆるごみ屋敷など家が片付いていない状況にあること、そういったことが多く目につくようになってきたと感じています。不登校については、毎年度10名程度は解消されている状況ですが、新たに不登校になってくる子どももいますので総数としては微増の状況です。学校でも家庭訪問をこまめにするなど努力はしているのですが特効薬が見つからない状況です。また、五島市には「たけの



こ」という指導教室もあり、指導教室でも不登校解消に成果をあげている状況です。

林田委員

補導活動についてですが、補導員の方だけでは大変だと思いますので、地域の方々も含めてみんなで青少年の非行防止に取り組んでいくことが大切だと思っています。資料の中で「だんだんと散歩やジョギングする大人の姿も少なくなった。大人の姿があるということは、青少年非行の未然防止に大きな要因となるのではないかと思っている」とありますが、具体的な説明をお願いします。

大塚課長

月に2回は補導員が見回るようになっていきます。最近では子どもの姿も大人の姿も見ることが少なくなったように感じます。資料に記載している内容は、大人の姿があれば子ども達の非行防止の抑止力になるのではという意味での表現になります。地域の方と補導員の方が知り合いになって地域の方が散歩などをする時に見ていただいたり、声かけをしていただいたりという思いも入っています。

教育長

以前、退職校長会の方々には、散歩などをする際には子ども達の登下校を狙ってやってくれればと助かりますということをお願いしていたこともありました。私も補導委員会に参加した時に思ったことは、最近は補導を実施しても子ども達の姿があまり見えないということです。家の中でインターネットとかをやるように変わってきているのかと感じています。大人が声掛けなどの意識を持って散歩やジョギングをしてもらうことも大切だと思います。

次回も各課の事業について、何か気になることがありましたらご意見をいただきたいと思っています。

それでは、以上をもちまして本日の12月定例教育委員会を閉会いたします。

(午後2時53分)